

文化振興の取り組みについて

令和7年(2025 年)10 月 31 日

文化スポーツ観光部文化振興課

1. 文化振興基本計画の概要

文化振興基本計画は、市の最上位計画である「YOKOSUKAビジョン2030」（横須賀市基本構想・基本計画）に掲げられた横須賀の将来像を実現するための具体的な方針の一つです。

特に「観光・文化・ワクワクがあふれだすまち」の実現を目指し、横須賀の魅力や個性を高め、市民が誇りと楽しみを感じられるまちづくりを推進するための指針となっています。

（１）「YOKOSUKAビジョン2030」・「横須賀再興プラン」とは

① 「YOKOSUKAビジョン2030」の基本方針

「YOKOSUKAビジョン2030」は、横須賀市が2030年に目指す理想の姿を明確に示した、まちづくりの最上位計画です。市の基本理念として「変化を力に進むまち。横須賀市」を掲げ、変化の激しい時代においても、地域が持つ力や個性を活かしながら、持続的な発展を目指しています。

このビジョンでは、市全体の将来像のもと、「子育て・教育」「健康・福祉」「環境・安全」「観光・文化・ワクワクがあふれだすまち」など、10の分野ごとに分かりやすい未来像と政策の方向性を示しています。

それぞれの分野ごとに具体的な目標や重点的な取り組みを定め、市民の皆さまとともに魅力と活力あふれる横須賀づくりを進めることを目指しています。

この計画は、すべての市の政策や事業の指針となり、「変化を力に進むまち」を実現していくための道しるべとなっています。



②「横須賀再興プラン」の基本方針

「YOKOSUKAビジョン2030」で掲げる未来像を具体的に推進するために策定されたのが「横須賀再興プラン」です。

計画期間は、令和4年度（2022年度）から令和7年度（2025年度）までの4年間としています。

取り組みを進めるにあたっては、横須賀ならではの個性や魅力を最大限に生かすために、以下の3つのグランドデザインを描いています。

1. 海洋都市

～可能性に満ちた海を活用します～

2. 音楽・スポーツ・エンターテインメント都市

～ワクワクがあるれるまちづくり～

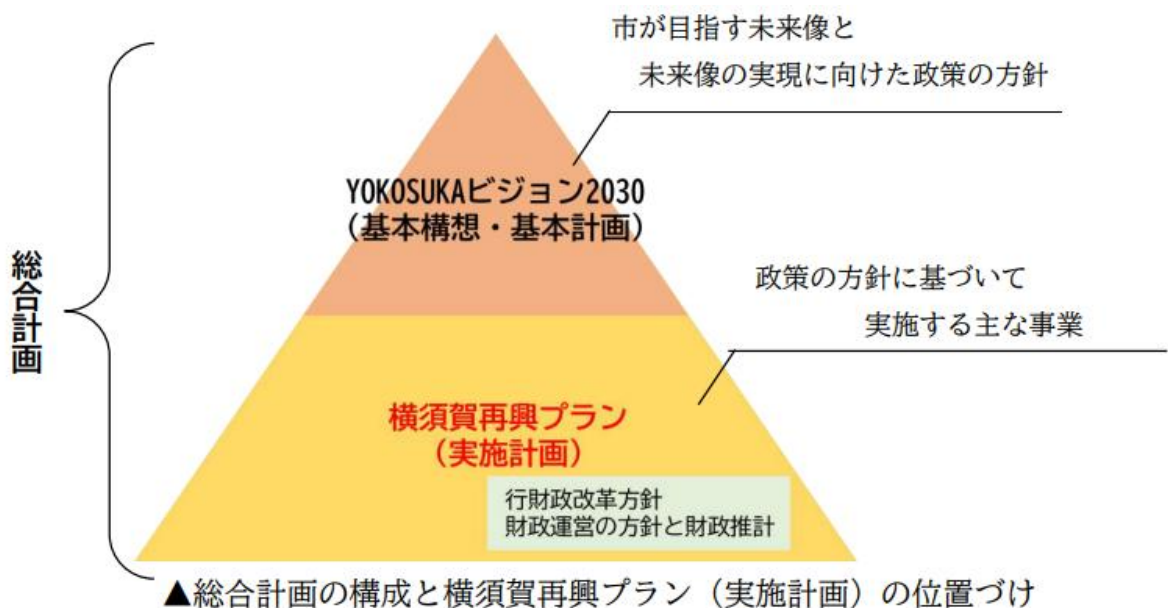
横須賀には、自然、歴史、文化など多彩な魅力を持つ地域資源がたくさんあります。これらの地域資源を生かし、音楽・スポーツ・エンターテインメントの力を融合させて、新たな魅力を創造します。

ワクワクがあふれるまちづくりを進め、市民が地元を楽しみ、まちに誇りや愛着を持つことはもちろん、市外に横須賀ブランドの魅力を発信し、集客につなげます。

3. 個性ある地域コミュニティのある都市

～住民同士が支え合う、安心して楽しく暮らせる地域をつくります～

本プランにより、新たなステージの取り組みを進めてまいります。



(2)「文化振興基本計画」とは

①基本方針

本市の文化の振興の目指すところは、文化振興条例に掲げた目的である「心豊かで潤いと活力のある横須賀」や、YOKOSUKAビジョン2030の観光・文化分野における政策方針「ワクワクがあふれ出すまち」について文化の側面で実現することです。

文化振興基本計画では、この実現に向けて、YOKOSUKAビジョン2030の分野別計画として、新たな文化の施策などを加味しながら、次の3つに重点を置き、文化の振興に取り組んでいきます。

②計画期間

文化振興基本計画は、平成19年4月改正・施行の文化振興条例に基づき、平成20年3月に第1次計画を策定しました。その後、平成26年度からの第2次計画を経て、本来であれば令和3年度に改訂をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1年間改訂を見送り、令和4年度に第3次計画を策定しました。

YOKOSUKAビジョン2030との整合性を考慮し、令和5年度から令和11年度までの7年間とします。当初の策定予定であった令和4年度から1年間遅れて策定を行いました。

	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
総合計画 (上位計画)	横須賀市基本構想・基本計画 (YOKOSUKA ビジョン 2030)								
	<div>分野別未来像</div> <div>01 福祉_誰もが自分らしく幸せに生きられるまち</div> <div>02 子育て・教育_いくつになっても育てあうまち</div> <div>03 健康・医療_健康がすぐそばにあるまち</div> <div>04 コミュニティ_多様な力でつくるまち</div> <div>05 防災・安全_つながりと備えが安心を生むまち</div> <div>06 都市基盤・まちづくり_誰もが暮らしを愛せるまち</div> <div>07 産業振興_失敗を恐れない挑戦者を応援するまち</div> <div>08 観光・文化_ワクワクがあふれ出すまち</div> <div>09 海洋_可能性に満ちた海を活用するまち</div> <div>10 環境_「自分ごと」の意識が未来を守るまち</div>								
	<div>前期・再興プラン(令和4年～7年)</div> <div>01 海洋都市</div> <div>02 音楽・スポーツ・エンターテインメント</div> <div>03 個性ある地域コミュニティ</div> <div>後期・再興プラン(令和8年～11年)</div> <div>現在策定中</div>								
分野別計画	文化振興基本計画 第2次計画 (平成26年～ 令和3年)		文化振興基本計画 第3次計画 (令和5年～令和11年)						

③計画の3本柱

その1 そだつ ～文化の担い手の育成と支援～

文化芸術に触れる機会の充実と文化活動の支援を図り、文化による潤いを感じられることを目指します。また、未来を担う子どもたちが多彩な文化芸術に触れ、心が豊かになるように取り組んでいきます。

その2 つたわる ～文化の次世代への継承～

文化の振興を図っていく上では、文化を引き継いでいかなければなりません。

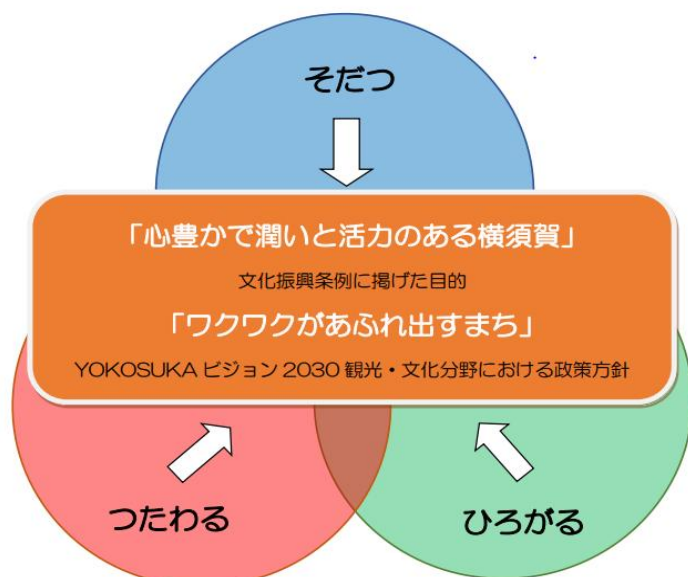
地域の歴史、文化的遺産、伝統的文化、海や緑の自然や歴史的景観などや、それから生み出される郷土への愛着や誇りは、私たちが次の世代に伝えていかなければ、途絶え、消えていってしまいます。これらの私たちの貴重な財産を、これからの世代に引き継ぐためには、歴史の掘り起こし、文化財などの保存、自然や景観の保全が大切です。

そこで、地域の歴史や文化的遺産を保存し、誰もが親しめるよう普及活動に取り組み、世代間の交流などを通じ、次世代へ継承していきます。

その3 ひろがる ～文化をたのしみながら交流を推進し、情報を発信する～

文化は、経済活動や観光などの交流の拡大に向けての大きな潜在力を持っています。横須賀の地域資源を活用した音楽やエンターテインメントを創出し、様々な世代がたのしみながら、世代間の交流も含め、文化による交流を推進します。また、文化・観光の魅力を多くの人に知ってもらうため、効果的に情報発信します。

【イメージ図】



文化振興条例に掲げた目的である
「心豊かで潤いと活力のある横須賀」や、
YOKOSUKAビジョン2030の観光・文化分野
「ワクワクがあふれ出すまち」について
文化の側面からの実現に向け、
3つの重点がこれに寄与し、更にYOKOSUKA
ビジョン2030へつながるイメージ図です。

2. 文化振興の取り組み状況

I そだつ（文化の担い手の育成と支援）

I-1 市民の文化活動の充実(市民文化祭の開催)

事業情報

実施時期	【春】令和6年5月 24 日～26日 【秋】令和6年 10 月5日～12 月8日
決算額	6,333,288円

事業概要

- 令和6年度に第 77 回目を迎えた歴史ある市民文化祭。第1回は昭和 23 年に開催。
- 市民の文化活動の発表・活動の場を提供することが大きな目的
- 音楽・美術・書道・民謡など幅広い文化活動の発表の場
- 市内文化団体や個人が多数参加し、交流の機会を創出
- 総合表彰式で、市内若手音楽家による演奏を実施
- 公益財団法人生涯学習財団への委託を行うことで運営



手工芸展(5 月)



諸流派茶会(10 月)



詩吟発表大会(10 月)



公募作品展(10 月)



諸流いけばな展(10 月)



囲碁大会(11 月)



川柳大会(11 月)



パッチワーク・キルト展(11 月)



俳句大会(11 月)



民謡のつどい(11 月)



琵琶名曲演奏会(11 月)



総合表彰式(12 月)

主な指標

	R4年度	R5年度	R6年度
参加者数	3,502 人	3,675 人	3,913 人
入場者数	11,035 人	8,690 人	9,945 人
行事数	春2・秋 17	春2・秋 19	春2・秋 18



若手音楽家によるおもてなし演奏

I-4 明日の文化の担い手の育成(小中学校への出前授業)

事業情報

実施時期	令和6年6月～2月 全6回(5校)
決算額	90,000 円

事業概要

- 小・中学校を対象に、横須賀の文化や歴史を伝えることを目的とした出前授業を実施
- R6 年度は、以下の5つのテーマで授業を実施
 - 三浦一族の歴史(社会)
 - 横須賀製鉄所から始まる近現代の歴史(社会)
 - 浦賀奉行所の歴史(社会)
 - 伝統芸能・文楽に触れる三味線体験(音楽)
 - よこすかルートミュージアムとティボディエ邸の紹介(総合学習)
- 令和 7 年度には、新しいメニューを追加(実施済)
 - 團伊玖磨生誕 100 年を記念した『「ぞうさん」から「横須賀市歌」まで世界的作曲家・團伊玖磨の魅力を歌う』
- R6年度はティボディエ邸や旧大矢部弾薬庫跡など校外授業も実施
- 地域の特色ある学びを通じて、横須賀への愛着を育む



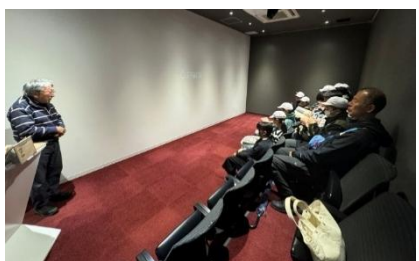
三浦一族(6 月)



鴨居の歴史(10 月)



伝統芸能(2 月)



ティボディエ邸(11 月)



伝統芸能(1 月)



新テーマ「團伊玖磨」(R7 実施)

主な指標

	R4年度	R5年度	R6年度
利用校数	9校	2校	5校
実施回数	9回	4回	6回
学校以外	—	—	1カ所

I-5 文化の担い手の支援(街なかをステージとした音楽ライブ)

事業情報

実施時期	令和6年6月～2月 全 44 回
決算額	5,337,411 円

事業概要

- 市、事業者及びアーティストが協力し、街なかをステージとした音楽ライブの場を創出・提供するとともに、アーティストやイベント情報を発信して、常に音楽のあふれた、ワクワクする街づくりを進める。
- コロナ禍より開始したオンライン配信では、街なかでの音楽ライブを発信することに加え、人気 Youtuber 等とのコラボした企画を発信することにより、毎年 100 万回を超える動画視聴回数を記録している。
- 令和 6 年度は、YouTube チャンネル登録者 100 万人を超える3名のインフルエンサーがヨコスカ街なかピアノの演奏動画を配信したため、動画視聴者数が増えた。



主な指標

	R4年度	R5年度	R6年度
音楽ライブ回数数	58 回	37 回	44 回
動画視聴者数	6,881,174 回	3,722,445 回	7,462,380 回
来場者数	5,550 人	5,810 人	11,704 人

Ⅱ つたわる（文化の次世代への継承）

Ⅱ-1 郷土の歴史や文化的遺産の継承(三浦一族・開国期の歴史に関する普及)

事業情報

実施時期	通年
決算額	三浦一族研究会 978,600 円 開国史研究会 1,493,600 円



開国史講演会(12月)

事業概要

- 三浦一族研究会や開国史研究会に、地域の歴史や史実の調査・研究を委託
- 研究成果を市民向け講演会や講座、かわら版などで発信
- 三浦一族研究会は、令和8年に設立 30 周年を迎える
- 開国史研究会は、令和9年の大河ドラマ「逆賊の幕臣」の主演「小栗上野介」で注目が集まり、歴史や研究会への関心が高まることが期待される

主な指標

講演会・講座参加者数	R4年度	R5年度	R6年度
三浦一族研究	805人	568人	655人
開国史研究	504人	399人	442人
合計	1,309 人	967 人	1,097 人



三浦一族史跡めぐり(3月)

Ⅱ-1 郷土の歴史や文化的遺産の継承(子ども向け小冊子の配付)

事業情報

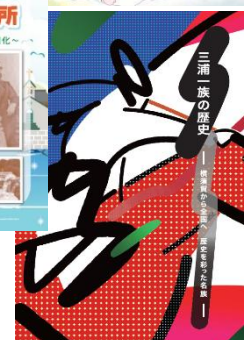
実施時期	令和6年7月
決算額	子ども向け3種類冊子増刷費 1,364,758円

事業概要

- 市内全小学校の6年生に、郷土の歴史を紹介する3種の冊子を配布
- 社会科の授業等で活用し、横須賀の歴史や文化への関心・理解を高める。
- 令和9年の大河ドラマ「逆賊の幕臣」の主演「小栗上野介」に関する内容も掲載しているため、このタイミングで改めて、効果的に活用する工夫が必要
- 冊子配布を通じて、郷土愛や学びのきっかけを広げる

主な指標

冊子配布数	R4年度	R5年度	R6年度
横須賀ゆかりの人物	5,500 部	5,500 部	5,500 部
横須賀製鉄所	4,000 部	4,000 部	4,000 部
三浦一族の歴史	13,000 部	8,000 部	7,000 部



Ⅱ-1 郷土の歴史や文化的遺産の普及（千代ヶ崎砲台跡の一般公開）

事業情報

実施時期	通年
決算額	11,700,025 円

事業概要

- 平成 27 年国史跡指定され、歴史遺産の保存と市民理解促進を目的とし、現在一般公開中
- 土・日・祝日のみ一般公開、事前予約不要
- 45 分程度の無料ガイドツアーの実施
- 「千代ヶ崎砲台跡活用サポーターの会」によるガイドツアー
- 令和6年度テレビ番組放送による入場者数の増加

主な指標

	R4年度	R5年度	R6年度
一般公開入場者	9,692 人	8,498 人	20,248 人



Ⅲ ひろがる（文化を楽しみながら交流を推進し、情報を発信する）

Ⅲ-3 文化による地域間交流の推進（友好都市「会津若松応援団」）

事業情報

実施時期	通年
決算額	150,000 円

事業概要

- 東日本大震災後、友好都市会津若松市の復興を目的に平成 23 年に設立
- 物産販売・観光ツアー・文化交流を通じた応援活動
- 「横須賀市合唱団体連絡協議会」は、震災が起きたその夏から会津若松市を訪問し「きいて・うたって・おどってみらんしょコンサート」と題した交流コンサートを毎年開催
 - 令和6年4月の「組曲横須賀演奏会」で交流コンサート 10 回目を記念し、初めて会津から合唱団を迎え合同演奏を実施



「あいづ合唱団連絡会」を招いた演奏会（4 月）

主な指標

	R4年度	R5年度	R6年度
登録団体数	33 団体	33団体	33団体

Ⅲ-4 文化による人々の交流の推進（文化を活かした観光振興）

事業情報

実施時期	令和6年6月～11月
決算額	100,222,631円

事業概要

- 市内外から多くの人を呼び込むため(一社)横須賀市観光協会への支援により、観光振興・経済の活性化を図る。
- 主な取り組み
 - よこすかYYのりものフェスタ2024(6月8日(土)・9日(日)、ヴェルニー公園他)
 - ◇ 「のりもの」というテーマを通じて横須賀が持つ特色を活かすイベントを開催
 - 日米親善ベース歴史ツアー(5月11日(土)、6月23日(日)、10月26日(土)、11月17日(日))
 - ◇ 米海軍横須賀基地内及びその周辺の近代歴史遺産を見学する機会を提供する。
 - ◇ コース【約5時間30分】JR横須賀駅→ヴェルニー公園→米海軍横須賀基地(横須賀鎮守府跡、ドライドック、小海岸壁、フードコート他)→ポートマーケット
 - よこすか開国花火大会(10月6日(日)、うみかぜ公園他)
 - ◇ 横須賀市最大のイベントとして花火大会を開催。
 - よこすかみこしパレード(10月27日(日)、横須賀中央大通り他)
 - ◇ 市民参加型の行事開催により、連帯感を高め郷土愛の育成を図る。



主な指標

来場者・参加者数	R4年度	R5年度	R6年度
よこすかYYのりものフェスタ	59,000人	70,200人	104,000人
よこすか開国花火大会	180,000人	荒天のため中止	185,000人
日米親善ベース歴史ツアー	432人	417人	443人
よこすかみこしパレード	コロナのため中止	23,300人	24,000人